

2020年3月12日

山口 祥義 佐賀県知事殿

佐賀県保険医協会

会長 藤戸 好典

日頃は県民医療の発展にご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

佐賀県保険医協会は、佐賀県内の医師・歯科医師 993 人で構成する保険医の団体で、県民が安心して医療を受けられ、医療経営が安定して行われることの実現を求めて活動しています。

さて、県下の保険医療機関は安全安心の診療を行うために尽力しているところですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、マスク、消毒用アルコール、使い捨て手袋等の医療材料不足に大変な苦勞を余儀なくされています。

当協会が行ったアンケート調査では、マスクについては「既に足りない」が 17% (64 件)、「現在は足りているが余裕がない」が 72% (274 件)。消毒用アルコールについては「既に足りない」が 17% (67 件)、「現在は足りているが余裕がない」が 68% (258 件) と、深刻な状況です。

更に、マスク・消毒用アルコールの 2 つとも「既に足りない」は 35 件 (24 医科診療所、2 歯科診療所、9 病院) です。驚くべきことに、マスク・消毒用アルコール・使い捨て手袋の 3 つとも「既に足りない」が 13 件 (8 医科診療所、5 病院) も存在する状況です。

また、PCR 検査を保健所に依頼したことのある 43 医療機関の内、「医師が必要と判断しても保健所が認めずに PCR 検査を実施できなかったことがある」と回答したのが 13 件あり、これも大きな問題です。

つきましては、下記の 3 点を要請いたします。

#### 記

1. マスク、手指消毒用アルコール、使い捨て手袋等、医療機関が安全に診療を行うために必要な材料を県の責任で優先して緊急に配布すること。
2. 新型コロナウイルスの感染が疑わしいと医師が診断した患者については、全例 PCR 検査を受けられるよう、県の責任で緊急に検査体制を拡充すること。
3. 以上の 2 点について、国にも緊急に要請すること。

以上